おかやまコープの「平和」「平輪」の取り組み

2025 年 7 月

SSDⅢ　代表参加者壮行会のようす

“ひとりの力は小さいけれど，母なればこそみんなで手をとり合って、少しずつ**平和の輪**を広げていきたいと思います。”
ＳＳＤⅢ（第３回国連軍縮特別総会に代表参加者の感想より）
岡山市民生活協同組合　平和の委員会
1989 年 4 月 1 日発行「平和文集　虹のレールⅡ」より
文集は、こちらにご案内しています→

HP 平和

おかやまコープの平和運動のはじまりは、、、

1978 年　第１回国連軍縮特別総会 SSD Ⅰ に派遣された統一代表団に日本生協連代表団（27 人）が参加
1979 年　岡山市民生活協同組合(岡山市民生協)：原水爆禁止世界大会・広島大会に１名参加
1980 年　岡山市民生協：「被爆者援護法」制定に向けて班ごとに折り鶴を折り、署名、募金に取り組む
1982 年　岡山市民生協：平和活動委員会が活動開始
第２回国連軍縮特別総会 SSDⅡに統一代表団が 2932 万人分の核兵器禁止署名を提出。日本生協連代表団(200 人)が参加。岡山市民生協：組合員理事と専務理事(後藤さん)が参加
1988 年　第３回国連軍縮特別総会 SSDⅢには日本生協連は市民で構成の代表団の一員として派遣。
岡山市民生協から、６名の組合員代表参加

左から
ニューヨークで２０万人の平和行進
イラン代表部で核兵器廃絶の訴え
反核平和国際交流集会

原水爆禁止世界大会・広島大会や長崎大会

組合員から寄せられた“平和の募金”を活用し、に組合員代表が参加
１９８１年広島に４６名。１９９０年広島に１５５名、長崎に２２名の参加など

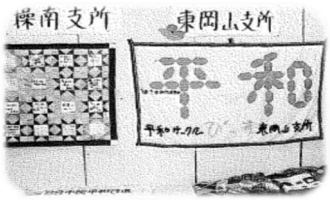
市民団体による岡山県民平和のつどい

１９８２年から２０１２年の第３１回まで開催
SSDⅡに参加した、岡山市民生協、県内団体(婦人協議会、青年団協議会、おかやま合唱団など市民団体の代表が、国連本部訪問、平和団体との交流や 100 万人平和行進などに参加し、その報告会として開催

平和のための戦争展・生協まつりでのミニ戦争展・平和フォーラム

生協まつりでの総社西中学校生徒作品　ピカソ作「ゲルニカ」模写

支所での平和サークル・委員会



非核平和都市宣言運動

１９８４年運営委員長会議で学習し、自治体に請願書を提出。
１９８６年８月、総社市では「非核平和自治体宣言塔」を建立

平和のための戦争展　津山・倉敷　１９８７年から

ピースアクション　ヒロシマ・ナガサキ・オキナワ　　ヒロシマ親子平和の旅　オンライン子ども平和会議

平和行進（国民平和大行進・市民平和行進）

兵庫県から引継ぎ、組合員や職員の通し行進者で広島県までつなげました。今は、様々な企画を通して“平和”を呼びかけています。　本コース以外に、吉井・熊山・津山・勝山・児島・寄島・新見・総社コースなど

合言葉“平和の花を咲かせましょう”

1982 年から行進参加

NPT（核兵器不拡散条約）再検討会議

2005 年（1 名）、2010 年(2 名)、2015 年(2 名)の計５名を代表派遣（2020 年は、3 人を予定していました）

平和のひろば

2013 年から開催。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）国際運営委員川崎哲さん、沢知恵さん、齋藤とも子さん、廣信靖之さん、山陽学園中学・高等学校、山陽学園大学・岡山大学の学生と被爆ピアノコンサート

署名活動

「被爆者援護法制定国会請願署名」・「核兵器禁止条約の早期実現を求める要請署名」
「ヒバクシャ国際署名」・「日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名」等

エリアの活動　岡山東・岡山西・倉敷・美作・備北・井笠

平和の波・平和学習・倉敷子ども平和サミット・へいわのひざかけ・平和行進・ピースカフェ・ＶＲ体験・平和のバスなど

この間の情勢　ノーベル平和賞受賞　　2017 年　核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）
ノーベル平和賞受賞　　2024 年　日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）